

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	ツインシティ整備推進事業		
事業担当	まちづくり事業部 まちづくり事業課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごこち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'03	3 環境に配慮した都市基盤整備を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	地区住民、市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他 】 【協働： 地区住民 】		
目的・目標		事業の概要	
本市の新たな北部の拠点として、また交通の玄関口としての役割を担う、環境と共生するまちづくりの具現化が図られています。		環境と共生するまちづくりとしてツインシティ整備事業の具現化を図るため、地区住民と検討を行うとともに各種調査を進めます。また、交通計画の検討及び交通網の整備を県に要請します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	都市計画決定・事業認可進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成24年度を100%とした都市計画決定進捗率。H22まで:90%、H23:都市計画決定手続き5%、H24:都市計画決定・事業認可5%(平成24年度まで)					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	60	90	95	100		
	実績	60	75	85			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	②：若干遅れている						
	遅れている理由	都市計画決定案件の手続きにおいて、関係機関等の調整に時間を要したため。					
平成23年度の主な取組と成果							
組合設立準備会を13回、地区別勉強会を4回、推進委員会を3回それぞれ開催し、地元地権者への事業啓発活動や意識の醸成を図りました。また、都市計画決定案件や県環境アセスメント条例手続きなどにおいて、関係機関との協議を進め、事業計画の検討を行いました。							
平成23年度の検証結果	B：おおむね成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他 	地元、県、期成同盟会の期待から、事業の必要性は高いと思われます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	本市だけでなく、県央湘南都市圏全体の発展をめざす事業のため、有効性は高いと思われます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 ■ 受益者負担、補助額 □ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) □ その他 	地元、県、市のそれぞれの役割分担を定めていくため、事業の妥当性は高いと思われます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務プロセス改善による効率化の方策 ■ コスト削減の可能性 ■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) □ その他 	コスト削減効果が見込まれる事業手法を組み合わせることで、効率性の確保を図っています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		<p>地元、県、市などとの役割分担を明確にしていき、住民が安心して事業を行える環境づくりを行いながら、いかに地区住民の事業に対する意識の醸成や合意形成が図れるかが課題です。</p>		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		環境アセス調査(予測評価書)	環境アセス調査(審査)	都市計画決定手続	都市計画決定、事業認可手続き、事業化準備
財源内訳	国庫支出金	15,000	12,000	11,500	5,000
	県支出金	19,170	18,621	11,998	5,000
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	20,681	19,849	13,228	6,274
事業費 (A)		54,851	50,470	36,726	16,274
執行率 (%)		99.28	94.78	98.65	
内訳	職員 (人)	1.40	2.80	2.85	3.00
	再任用 (人)	0.30	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		12,734	23,126	23,097	24,045
フルコスト (A+B)		67,585	73,596	59,823	40,319

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	より効率的かつ地域特性をふまえた支援を行い、環境共生のまちづくりの検討を行っていきます。
課長コメント	神奈川県土の南のゲートとして計画されているツインシティを本市の北の核と位置づけ、交通の利便性、機能性を活かし、環境と共生するまちづくりのモデル地区としてツインシティ面整備事業の具現化を図る必要があると考えています。